

沼津市中心市街地まちづくり戦略は、沼津駅周辺総合整備事業を契機として、沼津駅周辺の公共空間を車中心からヒト中心の魅力ある空間へと再生し、都市の顔として再構築していくために、今後取り組むべきまちづくりの施策の方向性を示すものです。

その戦略案について、建設水道委員会にて報告がありましたので、お知らせします。

## 沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）の概要

～沼津駅周辺総合整備事業とともに進めるまちづくりの4つの戦略～

### 戦略Ⅰ ヒト中心の公共空間の創出

- 沼津駅周辺がヒト中心の市街地となるよう、公共空間の再編と、これを実現するための地区交通体系の再編を図ります。



▲沼津駅南口駅前広場周辺の将来イメージ（試案）



▲沼津駅周辺の空間・交通再編のイメージ（試案）

### 戦略Ⅱ 拠点機能の立地促進

- 沼津駅周辺総合整備事業により生み出される車両基地や貨物駅などの鉄道施設跡地や高架下の空間について、それぞれの立地特性やニーズを踏まえ、地域の発展に資する都市機能の導入を図ります。

### 戦略Ⅲ まちなか居住の促進と市街地環境の向上

- 空き店舗・平面駐車場などの低未利用地を活用しつつ、利便性の高さを活かしたまちなか居住を促進するとともに、市街地環境の向上を図ります。

### 戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携

- 中心市街地と狩野川や沼津港などの周辺地域資源を結ぶネットワークを充実させ、中心市街地の魅力を高めます。
- 沼津駅につながる都市計画道路を、歩行者や自転車にとって快適な空間が確保されるよう整備し、周辺住宅地の利便性の向上を図ります。

※本戦略は、令和元年度中の策定を目指しており、策定後は、市ホームページで公開予定です。

沼津駅周辺をヒト中心の魅力ある空間へ

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）について

## 建設水道委員会での主な質疑

**問** 車両基地跡地に整備する施設との整合性の中で、市民の声を聞いて、関連する道路計画を変更するなどの考えはあるのか。

**答** 車両基地に向かう道路については、現状では変更することは見込んでいない。

**問** 戦略を推進するためには、駐車場や空き店舗の問題など、民間との協働、協力が必要だと考えるが、その認識は。

**答** 行政だけでなく、官民連携の取り組みは非常に大切である。令和元年度実施した七通線での社会実験で

は、高校生のアイデアをさまざまな実験ツールとして取り入れた。民間事業者や若い意欲のあるプレーヤーの方々と情報を共有し、取り組みの早い段階からまちづくりに関わっていただくことが、成功の鍵の一つになると考えている。

**問** 財政計画に対する認識は。

**答** 今回の戦略は、沼津駅周辺総合整備事業を契機に、今後の中心市街地がどのような方向で進んでいくのかを整理して示したものであるが、その具体化に当たっては、財源も含めしっかり検討していきたい。